

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月

国名：日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 担当者

2. 学校概要

学校名 大牟田市立天道小学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒836-0896
福岡県大牟田市天道町24番地

E-mail : tendou-es@st.city.omuta.fukuoka.jp

Website : http://www.e-net21.city.omuta.fukuoka.jp/tendo-es/

児童生徒数：男子 31名 女子 32名 合計 63名

児童・生徒の年齢 7歳～12歳

3. 実施活動（下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
 持続発展教育 (ESD) (国際理解 世界遺産 平和・人権 環境 気候変動 生物多様性 エネルギー 防災 食育 伝統文化 そのほか (福祉教育))
 そのほか ()

今までの活動の中で、教育の質の向上に効果のあった活動がありましたら、記載願います。

- 特別支援学校との交流を2年生から5年生まで毎年行うことで、児童は名前を覚えるとともに相手のことを思いやる心が育ってきている。
- 高齢者との交流をすることにより、高齢者の方と親しくなり、地域であったとき挨拶を交わしている。
- 持続可能な発展に関する価値観の向上に役立った。

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。

- 紙媒体の参考資料（新聞、出版物など）
- CD-ROM
- 写真
- その他（ ）



支援学校との交流



高齢者との交流

以下につきましては、該当する取組を実施した場合のみ
記載をお願いします。

- 実施テーマにおける教材の工夫や授業手法における工夫。
- 支援学校との交流を2年生から5年生まで毎年行う。
- 活動の前に、相手側の状況を知る活動を行う。

- 実施テーマに関連した研究旅行の実施。
実施していない
- 他国の学校との交流や相互協力の実施。（交流した国、学校名の記載もお願いします。特に相手校がASPネットワークに参加している場合は、その旨も記載願います。）
実施していない
- 国連やユネスコが取り組む国際的な記念日、国際年、国際的な10年を記念する取組の実施。（国際母語の日、国際天文年、識字の10年など）
実施していない